

双塔



新潟教会

2013年 10月

No.305

自らへりくだること

南山教会 マーティン・デュマス神父（神言修道会）

人間には、一番上に上がる事に憧れを抱くことはどんな国の全ての人にあります。この世で生活し、偉くなれば自らへりくだる事は弱い人のする事なので、強い人はいつもコントロールして、強い人に見られる事が良いと思いで込んでいます。ルカによる福音書の教えは、神の国の集りに入りたいなら、イエスの（謙遜）の言葉に従い模範に習うようにイエスが教えておられます。どうすれば、私達の日々の生活で福音書に書かれている事が役に立つことになるかを一緒に考えたいと思います。福音書では、イエスは謙遜するという言葉について教えておられます。同じ世間の考えに反対する《シラ書 3・17-18、20、28-29》で柔和な人は、施しをする人よりも愛されると教えておられます。「**偉くなればなるほど、みずからへりくだれ。そうすれば、主は喜んで受け入れてくださる、主はへりくだる人によってあがめられる**」ということを私達に教えておられます。この世の中での栄光は、神の国の命に与えられる栄光と違っている事を教えておられます。皆さん、よくご存知のように、世の勧めに対して、財産、成功、体力を持ってば崇められる。偉い者の魅力的なことです。主は愛する人、謙遜する人とサービスする人などによってへりくだる人に崇められます。私達、すべてのキリスト者の魅力的な性格はそのとおりであります。謙遜する事は神を恐れる人で、神の国に入るための性格の一番良い事だと教えておられます。

実は、ルカによる福音書はファリサイ派の人々に教えておられますが、現代社会、すべてのキリスト者、私達にも教えておられると思います。「**だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる**」という文書を読んだ時、神学生の時に体験した一つの個人の事を思い出しました。哲学の勉強の三年生の時、ある日、一年生の後輩に出会った時に彼に笑われました。聞いて見たら、彼が笑った理由は「いつも見るたびに、将来どういふふうにならうかと歩いているのかを考えていた」と言った。皆、神の導きを探して、神学校に入学したが、こういう考えには驚いた。彼の考えでは、私が叙階式まで続ける事は信じられなかったのです。六ヶ月後、卒業して神言会の修練に行った時に、その人に何が合ったのかは分かりませんが、神学校をやめていました。

《ルカによる福音書 14・1、7-14》の箇所を考えながら、この思い出を振り返り色々学びました。本当に、神は高ぶる者をしりぞけ、へりくだる者に目をとめておられます。すべての人は、神の前で同じです。けれども、心が違います。私だけが正しいキリスト者、一番良い席に座るという考えは神の国では、神が選ばれないでしょう。神の前で謙遜する人はキリスト者の一番大切な生活の礎です。神の前で良い心の人にもいますが、石のように硬い心の人にもいます。どんなに強い人にも、神が与えるみ旨を守る事が大事でしょう。どんなに知恵を持っていても十分ではないし、知らないこともたくさんあります。どんなに頑張っても、十分ではありません。すべてのキリスト者は、キリストの体となって結ばれた教会の中では皆同じ人間です。良い席は神の恵みによって与えられます。それには、神聖な生活が一番大切だとイエスが教えておられます。福音の最後に招いた人に教えておられたことをすべてのキリスト者、私達にも教えておられると思います。昔の人の話しによると、「友達は選ぶことができるが、家族は選択する余地がない」私達もキリストの洗礼によって結ばれた家族となりました。どんな人でも心を開いてもらうしかありません。見返りを求めない愛をもって、キリストの模範に習うことしか選択することができません。お金持ちでも、貧しい人でも、どんな人でも愛するという教えをイエスが命じられたと思います。どうすれば私達もこの教えを重んじる事ができるでしょうか。私達にも、謙遜する性格を神の恵みによって与えてくださるように聖霊の恵みを願いながら、日々のミサで祈りましょう。

そよかせ 便り

■ マーティン・デュマス師、新潟教会で「初ミサ」 ----- 9月1日(日) -----

アフリカ・ガーナ出身の神言会司祭、マーティン・デュマス・アクウェテイ神父様が夏季休暇で新潟を訪れ、日曜日 9 時半のミサを初めて司式。神父様は、菊地司教様がガーナで主任司祭をされた教会の出身で新潟は今回が 3 回目。説教では、キリスト者は「神の前で謙遜」が大切であると強調。英語ミサの後のパーティーにも参加して親交を温められた後、名古屋に戻られた。

※ 初ミサ 本来は、叙階された新司祭が初めてささげるミサ。叙階から 1 年の間に訪問した教会で初めて司式するミサも含めることもある。初ミサをささげる司祭とそのミサに与る人は、通常の条件で全免償を受けることができる。

■ 全世界の平和のために祈る ----- 9月7日(土)・8日(日) -----

シリアを巡る情勢が緊迫する中、教皇フランシスコは、9月7日(土)を「シリアと中東と全世界の平和のための断食と祈りの日」と定めた。全世界のカトリック信者、すべての善意の人々に祈りと犠牲を呼び掛け、自らもローマ時間9月7日17時より、聖ペトロ大聖堂で祈りの集会を司式。これに合わせて、新潟教区でも、8日の主日ミサがこの意向でささげられた。

《2013年 10月の聖書クラス・信仰講座のご案内》

曜日	時間	内容	担当 司祭
月曜日(不定期)	午前10:00～	キリスト教のQ&A	三崎 神父
水曜日(毎週)	午前10:00～	聖書クラス	ラウル神父
第2 土曜日	午前10:00～	カトリック教会の教え	ラウル神父

※「カトリック教会の教え」は、予定表を御覧ください。

※ 月曜日の「キリスト教のQ&A」は開催できない日がありますので、お問い合わせください。

※ 講座に参加される方は、担当司祭にご連絡ください。

---- 編集後記 ----

10月号の巻頭言をラウル神父様に催促したところ、満面の笑顔で「既に送っている」と言われました。なんと！デュマス神父様が書いてくださいました。日々の忙しい生活の中で、薄れがちの「謙遜」の言葉を改めて肝に銘じます。ありがとうございました。 広報部

ミサ時間のご案内

† 主日(日曜日) 7時・9時半・12時※ 18時
※第1日曜日は英語ミサ
† 週日(金曜以外) 7時
† 金曜日 10時(第1金曜日 10時・18時)

カトリック新潟教会 月刊「双塔」

毎月1回 最終日曜日発行
編集・発行/カトリック新潟教会
教会運営委員会広報部
〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656
TEL: 025-222-5024 FAX: 025-222-5054